



加 監 発 第 9 号  
平成26年6月20日

加 須 市 長 大橋 良一 様  
加須市議会議長 平井 喜一朗 様  
加須市教育委員会委員長 奈良 昭男 様

加須市監査委員 磯 勝 次

加須市監査委員 吉 田 健 一

平成26年度定期監査の結果（その1）について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

## 平成26年度定期監査結果(その1)

### I 監査の対象

- ・小学校4校  
(不動岡小学校・礼羽小学校・騎西小学校・北川辺西小学校)
- ・中学校2校  
(加須西中学校・大利根中学校)

### II 監査の期間

平成26年1月21日～平成26年6月11日

### III 監査の範囲及び基準日

平成25年4月1日から平成26年4月30日までに執行された平成25年度及び平成26年度の財務に関する事務の執行状況並びに平成26年度の学校経営の状況

### IV 監査の方法

学校の現状や財務状況を検証することを主たる目的とし、財務や学校経営に関する事務が関係法令等に準拠し適正かつ効果的、経済的に行われ、さらに合理的に運営されているかについて監査を実施した。

実施にあたっては、必要な資料及び関係書類の提出を求め、事前に事務局監査を実施し、備品類等の実地確認を行うとともに、各学校を訪問し、関係職員からの説明を聴取して行った。

### V 監査の結果

財務関係事務が関係法令等に準拠して執行されているか否かを主眼として予算執行状況、監査調書をもとに照合を行なった。併せて学校経営に係る事業の管理について、経済性や効率性に着眼し監査を行った。その結果、予算の執行状況、学校経営状況等については、おおむね適正かつ効率的に執行されていたことを確認した。

なお、本監査における学校の状況及び主な意見は次のとおりである。

## 1. 学校運営状況について

### (1) 組織について

学校の規模・教職員数の状況により、学校間で多少の差がみられるが、限られた人員の中で、校長・教頭を中心とした教職員の役割分担が明確に定められ、それに基づいた業務が行われており、責任体制も確立されている。

また、新任教職員の育成、勤務年数のバラつきなどの対応として、教員研修や学習指導研究など積極的に研修会等に参加させ、教職員一人ひとりが資質向上に努められるとともに、日ごろから教職員間の意思疎通の確認や情報の共有化が図られるなど組織体制の強化に取り組まれている。

### (2) 学校給食費等について

学校給食費、積立金やPTA会費等については、基本的には保護者の金融機関の口座から一括して引落しが行なわれており、その保管や取扱いについて、管理職の内部チェック体制のもと執行されている。

その中の学校給食費の未納については、学校給食費未納者への対応マニュアルに基づき、学校側の確実な対応により改善され、成果が上げられている。

### (3) いじめ・不登校について

いじめ・不登校については、一部の学校で報告があったが、体制の整備（対応マニュアルの作成、教職員の指導力向上、教育相談の充実、情報交換等）や迅速な対応（状況確認、連絡、家庭訪問等）等により、予防、早期解決、改善が図られていた。

なお、各学校では加須市いじめの防止等のための基本的な方針に基づき、学校・家庭・地域住民等関係者が連携し、一体となっていじめ問題の克服に取り組むことを目的とした「学校いじめ防止基本方針」を作成し、これに基づく対策に取り組まれている。

### (4) 学校評議員制度等地域との連携について

地域に開かれた学校づくりを進める目的で設置されている学校評議員制度は、自治会を始めとする地域の関係団体等の代表者で組織されており、年3回程度会議が開催されている。

その会議では、学校の経営状況や地域との交流状況などの説明、時には運動会や授業等の教育活動の参観なども行われている。

これらを通じて、評議員から寄せられた様々な意見や要望が、学校経営に生かされるよう運営されている。

### (5) 施設管理について

学校施設（遊具や運動用具等も含む。）の安全管理については、安全点検表により定期的な確認が行われているとともに、危険箇所や破損等が発見された場合には、速やかに使用の中止、修繕等が行われている。

## (6) 児童・生徒の登下校時の安全対策について

登下校時における児童・生徒の安全対策（交通安全・防犯等）については、通学路の危険箇所の確認と、集団による登下校、PTAや学校応援団を始めとする地域の方々による交差点での立哨や登下校時の付添いなど、児童・生徒の安全確保に努められている。

## (7) 図書について

児童・生徒が読書をすることにより、考える習慣が身に付けられるように、朝の読書タイムや総合的な学習の時間等において、児童・生徒が読書に関心を持つ創意工夫ある取組が行われている。小学校においては図書の利用が積極的に行われている。

なお、一部の学校においては、蔵書冊数が基準冊数を満たしていないため計画的に増冊されたい。

## (8) 備品等の管理について

学校には、机・ロッカーを始めとした管理用備品や教材用備品等が数多く備えられている。それらの備品については、台帳への正確な記載や定期的な確認がされており、適正な管理と有効な活用が行なわれている。なお、理科及び算数・数学教育のための設備の整備基準を満たしていないものも見受けられるため、今後計画的に整備されたい。

理科薬品の管理については、管理簿を備え、適正に管理されていた。

プールの消毒剤の管理については、各学校とも厳重に管理されている。ほとんどの学校において在庫は残っていなかったが、今後は、在庫数の管理簿を作成するなど、更なる管理に努められたい。

## (意見等)

### 個別的事項

**不動岡小学校** 児童数 202 人（平成 26 年度。以下同じ）

- ・「数学的な思考力を育てる算数科指導方法の工夫・改善」を掲げ、学力の向上と基礎学力が身に付くよう、授業時のヒントカードや類似問題学習など学習に関心を持たせる工夫がされ、子どもの能力にあった指導が行われている。
- ・「不動っ子ノート」により家庭学習に取り組むことの意識付けが定着し、学期末の自己評価を家庭に公表することで、家庭にも家庭学習の必要性に気づいてもらう機会が設けられている。
- ・青少年赤十字(JRC)に加盟し、学校生活の中での実践活動を通じ、みんなのために自分の力を生かし、いのちと健康の大切さや地域社会や世界のための奉仕精神が育まれており、今後も引き続き効果的な取り組みに努められたい。

**礼羽小学校** 児童数 366 人

- ・規律を重んじハーモニーを感じあう歌声の響きあう学校を目指し、毎日の歌声、月 1 回

のラララ歌声集会、秋には校内音楽会、卒業式に全校合唱と特徴ある教育活動が行われている。合唱活動をとおし上級生から下級生へ引き継ぐことは、全校児童の一体感を成就する活動となっている。今後も、よりよい伝統と独自性を強みとして努力されたい。

- ・児童は、さまざまな家庭環境にあり、教員が家庭内の問題について意識し、学力アップも含め基本的な生活習慣を身に付けることに重点をおいて個別指導・支援がされている。引き続き、児童の実情に応じ、学校教育目標に掲げる「力いっぱい学びたくましく生きる教育」を実践されたい。

#### 騎西小学校 児童数 392 人

- ・文部科学省「電子黒板を活用した教育に関する調査研究」のモデル校として、各クラスに電子黒板が配置され日常的に活用し、黒板への記載時間の短縮、視覚に訴える理解の一助となっている。また、広い農地を借用し、自然や地域の人との触れ合いなど、体験的な学習指導が展開されている。引き続き魅力ある授業の充実と指導法の工夫・改善に努められたい。
- ・いじめ、不登校対策については、アンケート（Q-Uテスト）を生かした居場所づくりをはじめ、「いじめ防止等のための基本的な方針」の作成、テレビ番組では、いじめ防止に関する取組が紹介されるなど、問題の克服のために積極的な取組を実施して、早期の解決を図って成果を上げられている。引き続き、早期対応に努められたい。
- ・東日本大震災により避難されている双葉町ほか福島県内からの児童に対して、今後も引き続き配慮されたい。

#### 北川辺西小学校 児童数 237 人

- ・校長の学校づくりの想いを込めた新たなグラウンドデザインは、「田中正造翁」と「田口和美博士」を盛り込み郷土の伝統と文化の理解を継承し、そして「教えはおさな心におさむべし 老て我身の罪に悔るな（田中正造翁の言葉）」を教育活動の指針として、教職員の理解と協力を得て学校運営に前向きに取り組まれている。引き続き特色ある学校づくりを推進されるとともに、学校応援団等地域との連携を強化し、地域密着型の教育活動に尽力されたい。
- ・通学区が広く、交通安全・防犯、雷雨など災害等が懸念されるので、引き続き、PTA、学校応援団等地域との連携を密にし、地域の実情に応じ、場面想定した対応マニュアルを活用しながら、児童の登下校の安全を図られたい。

#### 加須西中学校 生徒数 378 人

- ・「自ら気づき、考え、いきいきと楽しく活動する生徒の育成」を主題に、基本的な生活習慣の育成をとおし、家庭学習の習慣付け、国語の少人数指導等きめ細やかな学習指導や生活指導に力を入れ、いきいきと楽しく活動する学校づくりに尽力されたい。
- ・多項目にわたる危機管理マニュアルを作成しており、いざというときに備えられている。リスクマネジメントは学校経営にとって重要であり、内容の更新を適宜行い、最新の状態を維持しつつ、リスクに備えられたい。
- ・通学路の危険箇所を把握し、PTA や地域の方々による立哨など生徒の安全確保に努められるとともに、スタントマンによる自転車の交通事故再現による交通安全教室等が実施

されている。今後も、生徒一人ひとりが自ら交通事故防止に努め、安全行動に対する意識を高めるような興味ある啓発事業を展開し、安全を図られたい。

#### 大和根中学校 生徒数 339 人

- ・基本理念「ケサラが響き活力に満ちた学校」に盛り込まれている、第 2 校歌「ケサラ」の合唱活動をとおり、生徒一丸となって成し遂げた達成感を味わえるサイクルができています。今年度予定されている開校 50 周年記念式典においても、卒業生をはじめ公募による 1,000 人合唱が企画されているなど地域とともによき校風づくりに努められている。今後も伝統を継承し、地域に根付いた学校づくりに尽力されたい。
- ・生徒の自主性に任せるノーチャイム行動は、生活の基本を徹底し、規範意識を持ちマナーを身に付けるための活動となっている。
- ・施設の管理については、定期的な点検が行われ、危険箇所や破損等速やかに使用の中止、修繕等が行われ、安全な維持管理に努められている。なお、懸念されている体育館の排水設備や浄化槽の老朽化について、関係部署と協議しながら対応に努められたい。

### 総括的事項

各学校とも学校教育目標及びグランドデザインを明確に定め、学校規模、校風や地域の実状等に則した、努力や工夫を重ねて学校運営が行なわれている。また、校長のリーダーシップの下、学校における職員会議や運営委員会等においては、教職員間の意思疎通の確認や情報の共有化等が図られているとともに、教職員と児童・生徒が教育目標に向かって、一緒になって取り組んでいる姿が見られた。

そのような状況の中で、保護者等に対しても、これまで以上に学校経営・教育目標の共通理解を図り、その上で教育活動を実践され、さらには、その結果の検証・評価を行ない、よりよい循環により学校づくりに尽力されたい。

また、昨今の学校を取り巻く環境に目を向けると、少子化がさらに進み、核家族化・生活様式の多様化も久しく見受けられ、もはや、児童・生徒の登下校の安全ひとつとっても学校のみではその確保が困難で、地域の協力が必要となっている。

このような中、各学校とも学校評議員、ふれあい推進長、学校応援団と関係を密にし、学校運営をされているが、今後とも学校応援団をはじめとする地域団体と連携を図り、地域とともに歩む教育に尽力されたい。

また、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、加須市いじめの防止等のための基本的な方針に基づき、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員などの教育相談体制を活用し、各学校、地域や家庭等が一体となり各地域相互間の連携協力体制の充実を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解消に向けた取組を推進されたい。

さらに、学校給食費の未納問題は、各学校での取り組みによって、平成 25 年度分については、収納率が 99.93%まで達成している。また、過年度分の滞納についても、適切な債権回収など確実な対応により改善され、大きな成果が得られている。今後も引き続き、学校給食費の未納解消に努められたい。